

## 氏名 玉垣 努 (大学院研究科兼務)

### 1 著書

- 1) 玉垣努 山口昇編『身体機能作業療法学 第3版』医学書院 11月

本書は全国のOT学生の4割が購入する教科書であり、全面改定を行い「脊髄損傷」「身体機能作業療法学の発展に向けて」「さらに学ぶために」を執筆し、全体的な編集を行った。

### 4 学会等での活動

- 1) 脊髄損傷作業療法研究会にて年2回の講習会実施。
- 2) 活動分析研究大会発表と参加 5月21、22日
- 3) 神奈川県士会臨床研究会参加 8月7日
- 4) 日本生態心理学会発表と参加 9月3、4日
- 5) 神奈川活分大会参加 12月4日

### 5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 活動分析研究会の臨床研究班を実施し、会議を実施 (3回/年)。
- 2) 脳卒中友の会全国大会の開催支援と参加 10月23日
- 3) 第16回神奈川県作業療法学会の学会長として準備委員会を立ち上げ、準備を進めた。

### 6 学内教育活動

- 1) 臨床指導者会議の運営を実施した。
- 2) 3年生対象に実習に向けての身体障害領域の特別講義4日各2コマ実施した。
- 3) 実際の頸髄損傷患者さんを見たことのない学生のために、臨床でのビデオを編集し講義の資料を作成。
- 4) 1年生対象の見学実習において神奈川リハビリテーション病院の引率
- 5) 身体障害作業療法演習において客観的臨床テスト(オスキー)を実施
- 6) 実際の患者さんを見たことのない学生のために、日常生活援助論において頸髄損傷者及び脳卒中者を招聘し、実践的な教育を実施した。

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 研究科運営委員会
- 2) 研究科委員会にて書記
- 3) 高校教員入試説明会にてプレゼン
- 4) 全ての入試試験において面接官担当
- 5) オープンキャンパス全日程参加し、専攻説明会にてプレゼン
- 6) 人権倫理委員会

## 8 社会貢献

- 1) 県大卒業生および近隣の PT,OT 対象の「よこすか OT 勉強会」1 回／月
- 2) 発達障害児対象の乗馬療法を実施している「パッカパッカくらぶ」にて、乗馬療法のボランティア。(5～8 回／年)
- 3) 日本チェアスキー協会主催チェアスキー大会にて、身体障害者スキーヤーに対するボランティア 2016 年 12 月および 2017 年 2 月.
- 4) 神奈川スキー連盟主催障害者スキー講習会にて、身体障害者スキーヤーに対するボランティア 2017 年 3 月

## 9 講演, 放送

- 1) アフォーダンスとリハビリテーションラボ研修会を高松にて 5 月 28、29 日実施
- 2) 『臨床動作分析』の講習会を大阪にて実施 6 月 12 日
- 3) 脊損作業療法研究会において講師をつとめた 6 月 25、26 日.
- 4) 神奈川リハ地域支援センター主催講習会にてハンドリング入門の講師をつとめる 7 月 2 日.
- 5) 船橋リハビリテーション講習会の講師をつとめる 7 月 4 日
- 6) 『環境適応講習会』受講生 120 名に対して食事動作についての講義および実技を実施した。7 月 16,17,18 日
- 7) 脊損作業療法研究会において講師をつとめた 9 月 27、28 日.
- 8) 関ヶ原病院主催研修会にて講義および実技を実施した。9 月 24 日
- 9) ハンドリング研究会にて講義および実技を実施した。11 月 4 日
- 10) 神奈川リハ地域支援センター主催土曜日研修において講師をつとめた 11 月 19 日.
- 11) 『脊損のリハビリテーション』の講義を大阪にて実施 2015 年 11 月.
- 12) 穴吹リハビリテーション学院において「脊損のリハビリテーション」の講師をつとめた 1 月 20,21 日.
- 13) 脊損作業療法研究会臨床編において講師をつとめた 2016 年 2 月.
- 14) 横浜旭中央総合病院勉強会にて講師を務めた 11 月 26 日

**氏名 笹田 哲（大学院研究科兼務）**

## 1 著書

- 1) 笹田哲：知ろう学ぼう障害のこと LD・ADHD のあるお友だち．金の星社, 2017. 2.
- 2) 笹田哲：知ろう学ぼう障害のこと 自閉スペクトラム症のあるお友だち．金の星社, 2017. 3.
- 3) 笹田哲：知ろう学ぼう障害のこと 肢体不自由のあるお友だち．金の星社, 2017. 3.

## 2 学術論文

- 1) S. Sasada : The characteristic of a pencil grip of the children from 6 years old to 7 in Japan. Asian Journal of Occupational Therapy Vol. 12, 2016.
- 2) 笹田哲：不器用な子どもの生活動作の見方と指導法～動きのピラミッド・ツールを用いて～．小児保健研究第 75 巻第 5 号, 534-540, 2016.
- 3) 丸山祥, 長谷龍太郎, 笹田哲：高齢者に対する訪問作業療法における作業療法リーズニング研究—参加観察と半構成的面接を利用した質的研究—．日本臨床作業療法研究 No. 4 : 13-22, 2017.
- 4) 笹田哲：子どもの気になる食行動の見方とその指導．小児歯科臨床第 12 号, 12-19, 2016.
- 5) 笹田哲：自分の臨床実践に人間作業モデルを取り入れる利点．日本作業行動学会誌第 20 巻 3 号, 149-153, 2016.
- 6) 笹田哲：子どもの気になる食行動の見方とその指導．小児保健研究第 75 巻第 5 号, 721-724, 2016.

## 3 学会等での活動

- 1) 杉山いずみ, 水野健, 笹田哲：重症心身障害者の行動パターンと作業機能の特徴～短縮版小児作業プロフィールを使用して～．日本作業行動学会第 26 回学術集会(横須賀市) 2016. 6.
- 2) 笹田哲：読み書きが苦手な児童向けのひらがなワークの開発について．第 50 回日本作業療法学会(札幌市) 2016. 9.
- 3) 丸山祥, 笹田哲：高齢期障害に対する作業療法リーズニングの変化と介入モデルの応用～回復期リハビリテーション病棟における一事例～．日本作業行動学会第 26 回学術集会(横須賀市) 2016. 6.
- 4) 脳梗塞を発症した 80 歳代女性が回復期リハビリテーション病棟でトイレ動作を獲得し自宅での独居生活に復帰した事例．日本作業行動学会第 26 回学術集会(横須賀市) 2016. 6.
- 5) 小砂哲太郎, 野村千佳, 水野健, 笹田哲：入院高齢統合失調症患者における作

- 業機能の特徴～人間作業モデルスクリーニングツールを使用して～. 日本作業行動学会第26回学術集会(横須賀市) 2016.6.
- 6) 佐藤範明, 水野健, 笹田哲: 身体障害を合併した統合失調症事例への支援～興味に基づく短時間の介入により変化が見られた事例～. 日本作業行動学会第26回学術集会(横須賀市) 2016.6.
  - 7) 遠藤雅俊, 村仲準一郎, 水野健, 笹田哲: MOHOの治療戦略によって服薬アドヒランスが向上した事例. 日本作業行動学会第26回学術集会(横須賀市) 2016.6.
  - 8) 藤崎慧, 丸山祥, 笹田哲: 意味ある作業で有能感を取り戻した一例～新人作業療法士による回復期リハ病棟での人間作業モデルの活用～. 日本作業行動学会第26回学術集会(横須賀市) 2016.6.
- 4 学会, 協会, 公的団体の委員など
- 1) NHK Eテレ「ストレッチマンV」番組企画委員
  - 2) 日本作業行動学会 学術誌査読委員
  - 3) 日本作業行動学会 理事
  - 4) 日本発達系作業療法学会 理事
  - 5) 日本発達系作業療法学会 学術誌査読委員
  - 6) ヒューマンサービス研究会世話人
- 5 学内教育活動
- 1) 大学院修士論文指導
  - 2) 学部生卒業研究指導
  - 3) 学部「遊び余暇活動治療学」で地域小学校との連携授業を導入
  - 4) 12期生学年担任
  - 5) 2016年オープンキャンパス入試相談
- 6 学内各種委員会活動
- 1) 研究科入試委員会
  - 2) 教務委員会 副委員長
  - 3) 博士課程設置検討委員会
- 7 社会貢献
- 1) 横須賀市立馬堀小学校交流授業 2016.11.
  - 2) 日本作業療法士協会主催 認定作業療法士取得研修会講師 2016.8.

**氏名 長谷 龍太郎 (大学院研究科兼務)****2 学術論文**

- 1) 村仲 隼一郎,長谷龍太郎 (2016).介護予防事業参加者における包括的 QOL と意味のある作業への参加状況との関連性の検討,日本作業療法研究学会雑誌.19,1,27-30.
- 2) 山口清明,長谷龍太郎,奥津光佳,友利幸之介,北島静香,仲間知恵(2016)保育に焦点を当てた作業療法コンサルテーションの効果을明らかにするためのパイロット研究-ADOC-Sを使用した個別支援計画の作成-,医療の広場.56,10,16-22.
- 3) 丸山 祥,長谷龍太郎(2016).作業療法リーズニング概念の活用に関する文献研究 欧米と日本における 2005 年以前と 2006 年以降の比較,日本臨床作業療法研究, 3,1,39-46.

**4 学会等での活動**

- 1) 長谷龍太郎:日本における作業行動の起源と歴史的背景.日本作業行動学会第 26 回学術集会 特別講演 (横須賀市). 2016.6.18

**5 学会, 協会, 公的団体の委員など**

- 1) 日本リハビリテーション教育評価機構 評価員 2016.4.～2017.3.
- 2) 日本作業行動研究会 副会長 2016.4.～2017.3.
- 3) 日本発達系作業療法学会 顧問 2016.4.～2017.3.
- 4) 日本作業療法士協会 教育部部員 2016.4.～2017.3.

**6 学内教育活動**

- 1) 平成 28 年度オープンキャンパスにおいてリハビリテーション学科作業療法学専攻の説明会において講師を担当した。2016.8.7

**7 学内各種委員会活動**

- 1) リハビリテーション学科 学科長 2016.4.～2017.3.
- 2) 総務企画委員会 委員 2016.4.～2017.3.
- 3) カリキュラム委員会 委員 2016.4.～2017.3.
- 4) 国際協働専門部会 部会長 2016.4.～2017.3.

**8 社会貢献**

- 1) 平成 28 年度神奈川県立保健福祉大学第 13 回ヒューマンサービス公開講座において「暮らしの中の保健福祉」のテーマで「子どもの発達;運動、人間関係そして遊び」の講師を担当した。2016.6.12
- 2) 横須賀市教育委員会支援教育課の依頼で横須賀市立養護学校の理学療法・作業療法による特別支援教育の具体的実践の検討と支援を行った。2016.7.4
- 3) 横須賀市教育委員会支援教育課の依頼で横須賀市立養護学校の理学療法・作業療法による特別支援教育の具体的実践の検討と支援を行った。2016.12.5

- 4) 横須賀市教育委員会支援教育課の依頼で横須賀市立養護学校の理学療法・作業療法による特別支援教育の具体的実践の検討と支援を行った。2017.3.13
  
- 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託
  - 1) 長谷龍太郎，長山洋史，友利幸之介．「活動と参加」に焦点を当てた作業療法士の巡回相談に焦点を当てた効果検証．科学研究費，4550 千円，2015.4.1～2018.3.31

## 氏名 奥原 孝幸 (大学院研究科兼務)

### 4 学会等での活動

- 1) 奥原孝幸. (2016.5). シンポジウム, 個別作業療法にこだわる. 東京: 第 23 回精神科作業療法集談会
- 2) 奥原孝幸. (2016.5). 講演, 認知行動療法と心理社会的アプローチ. 横浜: 横浜 CBT に集う会
- 3) 奥原孝幸. (2016.8). 教育講演, 対象者も治療者自身も活性化できる認知行動療法入門～自分にはできない」を「自分でもできるかもしれない、やってみよう!」に変える～. 神奈川: 第 2 回神奈川県臨床作業療法大会
- 4) 奥原孝幸. (2016.9). シンポジウム 精神科作業療法を未来に向かって考える. 茨城: 第 52 回精神科作業療法協会全国集会
- 5) 奥原孝幸. (2017.2). 講演, 患者も治療者自身も活性化できる認知行動療法入門 (二回目の挑戦) ～認知行動療法を取り入れた統合失調症者への精神科作業療法の臨床実践～. 神奈川: 三浦半島 O T 勉強会

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 横浜市障害程度支援区分審査会委員
- 2) 横須賀市自殺対策連絡会構成員 (副座長)
- 3) 日本作業療法士協会教育部生涯教育委員会生涯教育制度推進担当
- 4) 日本作業療法士協会事例報告登録制度審査委員
- 5) 日本作業療法士協会制度対策部保険委員会委員
- 6) 日本作業療法士協会学会演題審査委員
- 7) 神奈川県作業療法士会理事 (教育部担当)
- 8) 神奈川県作業療法士会代議員
- 9) 日本病院・地域精神医学会選挙管理委員会委員
- 10) 横浜 CBT に集う会代表
- 11) 首都圏精神科作業療法連絡協議会理事
- 12) 精神科作業療法集談会世話人
- 13) 第 16 回神奈川県作業療法学会実行委員 (学術局長)

### 6 学内教育活動

- 1) チューター会
- 2) 保健医療福祉論 I ファシリテーター

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 入試委員会

9 講演，放送

- 1) 奥原孝幸. (2017.2). 講演，ともに生きる. 神奈川：神奈川県立保健福祉大学講演会



**氏名 白濱 勲二 (大学院研究科兼務)**

## 1 著書

- 1) 山口 昇 他編. 白濱勲二 著: 身体障害作業療法学 第3版. 糖尿病 p405-420. 医学書院. 2016.

## 2 学術論文

- 1) **Kunji Shirahama**, Masatoshi Gocyou, Tomomi Morita, Taeko Kitahashi, Tomonori Yasuda. Development of a task-specific occupational therapy training menu for the improvement of upper limb function in stroke patients. *Asian Journal of Occupational Therapy* Vol. 12, No. 1p.43-51, 2016
- 2) 高瀬 一輝, **白濱 勲二**, 三谷 尚子: 基盤となる高次脳機能障害への介入と着衣障害への直接介入を併用した症例. 日本作業療法研究学会雑誌 18巻2号 Page37-43. 2016.

## 3 その他の著作

- 1) **白濱勲二**. 巻頭言「自然科学」に分類される作業療法. 神奈川作業療法研究. Vol.6 No1, 2016.

## 4 学会等での活動

- 1) **白濱 勲二**, 牛腸 昌利, 安田 大典, 小野寺 礼真: 回復期リハビリテーション病院における脳卒中に対する作業療法介入の実態調査. 日本作業療法学会抄録集 50回 (札幌) Page PA-6-3B. 2016.
- 2) 安田 大典, 益満 美寿, **白濱 勲二**, 水野 由子[松本], 飯山 準一: クリニカル・クラークシップが臨床実習における情意領域の自己評価に与える影響 3つの異なる臨床実習形態の比較. 日本作業療法学会抄録集 50回 (札幌) Page PR-5-4A. 2016

## 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 白濱勲二. 日本作業療法学会 演題査読委員
- 2) 白濱勲二. 日本作業療法学会 事例報告登録制度審査委員 (A 審査)
- 3) 白濱勲二. 学術誌 作業療法 第1査読委員.
- 4) 白濱勲二. 日本作業療法研究学会雑誌 編集同人
- 5) 白濱勲二. 神奈川作業療法研究雑誌 編集委員長
- 6) 白濱勲二. 三浦半島作業療法研究会 理事
- 7) 白濱勲二. 第50回日本作業療法学会 (札幌) 演題査読
- 8) 白濱勲二. 第50回日本作業療法学会 (札幌) 口述発表座長
- 9) 白濱勲二. 第15回神奈川県作業療法学会 (横浜) 口述発表座長

## 6 学内教育活動

- 1) 白濱勲二. 学部担当科目等の視聴覚教材製作

- 2) 白濱勲二. 学部卒業研究指導 (3名)
- 3) 白濱勲二. 保健学研究科における講義、演習、研究指導。
- 4) 白濱勲二. 大学院生 (1名) の教育・研究指導

#### 7 学内各種委員会活動

- 1) 白濱勲二. 研究倫理審査委員会 副委員長
- 2) 白濱勲二. 博士課程設置検討委員会 委員

#### 8 社会貢献

- 1) 白濱勲二. オープンキャンパスでの入試相談 2016.8.6-7
- 2) 白濱勲二. 横浜市障害程度区分認定審査委員 副委員長 2016. 4. 1～2017. 3. 31.
- 3) 白濱勲二. 勉強会「回復期リハビリテーション病院における FIM 利得と予後について～脳卒中、整形外科疾患～」医療法人社団哺育会桜ヶ丘中央病院. 神奈川県大和市.  
2017年1月26日.

## 氏名 小河原 格也 (大学院研究科兼務)

### 4 学会等での活動

- 1) 小河原格也, 東登志夫: ダーツ課題における運動学習と脳内活動の関係. 第 50 回日本作業療法学会, 2016

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県作業療法士会 学術部 学術誌編集・査読委員
- 2) 神奈川県作業療法士会 代議員
- 3) 第 16 回神奈川県作業療法学会 企画局長
- 4) 日本作業療法士協会事例登録 審査委員

### 6 学内教育活動

- 1) 老年期作業療法学・同演習 科目責任者
- 2) 地域作業療法学・同演習 科目責任者
- 3) 作業療法管理運営 科目責任者
- 4) 学部担当科目  
作業療法概論, 評価学概論, 作業適用学, 運動学, 作業運動学, 遊び・余暇活動治療学, 作業療法理論, 卒業研究, 地域理学療法学, 在宅看護学
- 5) 大学院担当科目  
機能障害作業療法学・同演習
- 6) 国家試験対策

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会
- 2) 研究委員会
- 3) 作業療法学専攻 4 年生担任

### 8 社会貢献

- 1) グループホームいずみ運営推進会議構成員
- 2) 小規模多機能なかよし運営推進会議構成員
- 3) オープンキャンパス
- 4) かもめ団地・グループホームいずみ ボランティア

### 9 講演, 放送

- 1) 平作カフェ. 健康教室 (ロコモ), 2016.6
- 2) 高齢期作業療法を考える会. 医療経済と実践, 2016.7
- 3) 小規模多機能なかよし運営推進委員主催. あなたの健康貯筋増やしませんか, 2017.3

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

1) 科学研究費補助金・若手研究 B（平成 28 年度～30 年度）

「運動学習における脳内活動の縦断的変化と補助手段活用による促進効果の検証」

## 氏名 長山 洋史 (大学院研究科兼務)

### 1 著書

- 1) 小林法一編 一部執筆 公立大学法人 首都大学東京 「介護予防・日常生活支援総合事業における 効果的な IADL改善プログラムの開発に関する研究」 報告書

### 2 学術論文

- 1) **H Nagayama**, K Tomori, K Ohno, K Takahashi, R Nagatani, R Izumi, K Moriwaki, K Yamauchi. Cost effectiveness of the occupation based approach for subacute stroke patients: Result of a randomized controlled trial. Topics in Stroke Rehabilitation 2017(in press) (査読あり)
- 2) **長山洋史**. 高齢者に対する作業選択意思決定支援ソフト Aid for Decision Making in Occupation Choice : ADOC を用いた作業療法の効果と費用効果の検証. 慶應義塾大学健康マネジメント研究科博士論文 2016-09-21 甲第 4495 号
- 3) 松岡 太一, 川口 敬之, 崎本 麻衣, 及川 裕也, 高橋 香代子, **長山 洋史**, 友利 幸之介 精神科長期入院者に対する作業に焦点を当てた実践についての一考察—作業選択意思決定支援ソフト (ADOC) を用いた単一事例研究—. 神奈川作業療法研究 6(1): 33-40, 2016 (査読あり)

### 4 学会等での活動

- 1) **長山洋史**, 友利幸之介, 澤田辰徳, 齋藤佑樹, 森脇健介. 回復期リハビリテーション病棟入院中の脳血管障害者に対するトップダウンアプローチの費用効果分析—無作為化比較試験による検証—. 第 50 回日本作業療法学会 (北海道)
- 2) 浅葉由美恵, 澤田辰徳, 大野勘太, **長山洋史**, 松若夏衣. クライアント中心及び作業に基づいた実践の作業療法の効果—無作為化比較試験に対するシステムティックレビュー—. 第 50 回日本作業療法学会 (北海道)
- 3) 大野勘太, 澤田辰徳, 浅葉由美恵, **長山洋史**, 松若夏衣. クライアント中心及び作業に基づいた実践の作業療法の効果—無作為化比較試験に対するメタアナリシス—. 第 50 回日本作業療法学会 (北海道)

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本作業療法学会 査読委員
- 2) 日本臨床作業療法学会 学術誌 査読委員
- 3) 神奈川県作業療法士学会 運営局 局長

### 6 学内教育活動

- 1) 運動学 科目責任者
- 2) 身体機能評価学 I 科目責任者
- 3) 身体機能評価学 II 科目責任者
- 4) 評価学演習 15 コマ

- 5) 作業療法概論 1 コマ
- 6) 地域作業療法学 1 コマ
- 7) 日常生活活動論 1 コマ
- 8) 日常生活活動演習 3 コマ

## 7 学内各種委員会活動

- 1) 研究助成委員
- 2) 時間割ワーキング

## 8 社会貢献

- 1) 慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員  
SFC 主催 ORF2016 出展 (東京ミッドタウン)
- 2) 「介護予防・日常生活支援総合事業における 効果的な I A D L 改善プログラムの開発に関する研究」 費用効果検証班 班長
- 3) BMC 「Health and Quality of Life Outcomes」 査読

## 9 講演, 放送

- 1) 高齢期作業療法を考える会 講演 医療経済と実践について

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費 基盤研究 C (主研究者 長谷龍太郎) 分担研究者

## 11 学内研究助成金の受託

- 1) 奨励研究 B

## 氏名 横井 安芸

### 2 学術論文

- 1) 石川哲也, 横井安芸, 宮本礼子. 記憶障害の気づきを促す一失敗を再認する課題と心理的ストレスに配慮した関わり方— 神奈川作業療法研究 7 (1) : 21-26

### 4 学会等での活動

- 1) 横井安芸, 大嶋伸雄, 小林隆司, 小林法一. デルファイ調査による高齢者の生活期リハビリテーションに携わる作業療法士のコンピテンシーに関する内容的妥当性の検討. 第 50 回日本作業療法学会 (北海道)

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 第 16 回神奈川県作業療法学会 事務局広報

### 6 学内教育活動

- 1) 作業適用学 (科目責任者)
- 2) 評価学実習 I (科目責任者)
- 3) 評価学概論 (2 コマ)
- 4) 作業療法概論 (1 コマ)
- 5) 身体機能作業療法学 II (2 コマ)
- 6) 日常生活援助論 (1 コマ)
- 7) 身体機能評価学 I (1 コマ)
- 8) 身体機能評価学 II (1 コマ)
- 9) 作業療法管理運営 (1 コマ)
- 10) 地域作業療法学 (2 コマ)
- 11) 遊び・余暇活動治療学 (レク実習補助)
- 12) 老年期作業療法学演習 (レク実習補助)
- 13) 身体作業療法学演習 (事例提示, 試験補助)
- 14) 日常生活援助論演習 (試験補助)
- 15) 解剖学実習 II (引率)
- 16) 保健医療福祉論 I (現場訪問の引率, 事前事後指導担当)
- 17) ヒューマンサービス総合演習 (ファシリテーター)
- 18) 卒業研究指導 1 名
- 19) 2 年生 (13 期) 副担任
- 20) 評価学実習、総合臨床実習における各サポート

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 平成 28 年度卒業式・修了式及び平成 28 年度入学式実行委員
- 2) FD 委員

## 8 社会貢献

- 1) ボランティア：グループホームいずみ 季節行事(12月)
- 2) 地域啓発活動：グループホームなかよし 外部評価会議参加
- 3) オープンキャンパス（運営補助）